

こんな活動です!!

地域みんなで支える学校・育てる子ども ～できることを・できるひとが・できるときに～

活動名

高原地区学校支援地域本部
【宮崎県高原町】

関係する学校

高原町内4小学校・2中学校
(町内の全小・中学校)

活動の区分

学校支援地域本部	放課後子ども教室	コミュニティ・スクール	その他
○	—	—	—

●基本データ

学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	補助の有無
	1人	144人	20年度	あり
放課後子ども教室	コーディネーター数	子どもの平均参加人数	年間開催日数	補助の有無
	—人	—人	—日	—
	実施場所		開始年度	放課後児童クラブとの連携
		—	—年度	—
コミュニティ・スクール	指定日	委員数	児童生徒数	学級数
	—	—人	—人	—学級

※H23年度の実績(補助の有無についてはH24年度の状況)

活動の概要

- ・平成20年に委託を受けスタート。コーディネーターを核とした学校支援ボランティア活動を開始。
- ・活動に参加したボランティアの成就感を意識したり、フォローなどすることで地域の学校を意識する機運が高まった。
- ・新燃岳の噴火の際には、校舎の窓ガラスに空振対策テープを貼る等、防災対策を行った。また、外壁の清掃を行った。

(主な活動内容)

- ・読み聞かせ活動
- ・環境整備・植栽活動
- ・登下校時の見守り・あいさつ活動
- ・三世代交流活動
- ・社会科学習支援



学校コーディネーター研修



空振対策テープ張り

特徴

〈組織・手法〉

- 社会教育指導員を兼務するコーディネーターを教育委員会に配置し、ほとんどのボランティア活動に参加している。学校とボランティアとの打合せはコーディネーターが実施している。

〈活動に当てる工夫〉

- 支援活動を広く町民に知ってもらうために、区長会回覧を通してチラシの配布や教育委員会広報誌「友遊」にボランティア活動の様子を掲載。また各種会合の折出かけ、PRしている。
- 日ごろからコーディネーターが住民や地区との交流を図りながらボランティアへの参加を呼びかけている。
- 活動の後、労をねぎらうための工夫を実施している。

〈幅広い支援活動〉

- 地域住民が読み聞かせ・見守り・あいさつ活動、環境整備・三世代交流など多岐・多様にわたり協力している。今年は、小小連携授業において、文化調査委員による学習支援も実施した。

〈連携・広がり〉

- ボランティアの地域住民への働きかけにより、ボランティアが増加した。
- 多くのボランティアが一つの活動のみに限らず、それぞれの活動に参加している。
- 読み聞かせ活動は、学校行事への参加や、学校間で活動を行っており、町ぐるみ読書活動につながっている。



学校園除草



登校時の見守り



読み聞かせ



三世代グラウンドゴルフ

事業を実施して

- ・「できることを・できるひとが・できるときに」をモットーに支援活動を実施。ボランティアの自らの経験を生かせる場として、自己実現や生きがいづくりとなっている。事業を通して、ボランティアは子どもたちや教職員との交流を深め、更なる学校支援への参加につながっている。
- ・「見守りたい帽子」「読み聞かせエプロン」などの着帽・着用により、ボランティア間の意識の高揚が図られて、ボランティア同士の連帯感も生まれている。